

第429回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	16番 松野久郎	<p>1. 白石市公共施設等総合管理計画について</p> <p>我が国において公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっていることを踏まえ、各地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請があり、本市においても平成29年3月に「白石市公共施設等総合管理計画」が策定されました。計画期間は、平成28年度から平成67年度までの40年間となっておりますが、策定にあたって第5次白石市総合計画に定める「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」の実現に向け、公共施設等を長期的な視点を持って、財政負担を軽減・平準化するとともに、次世代に可能な限り負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の最適な配置、適正な管理に努めるとしています。</p> <p>これらを踏まえて、質問をいたします。</p> <p>(1) 現在の公共施設は、平成28年12月31日現在で209施設がありますが、今後「インフラの長寿命化」で維持管理・運営していくために必要な改修・更新費は、年平均額19.4億円と財政圧迫が必至であることから、施設運営の廃止等も考慮した、公共施設のあり方について、早期に対策を講ずることが直近の課題と考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>(2) 「統合や廃止の推進方針」では、施設の利用度、立地条件、維持管理コスト等を勘案して、統廃合、再配置、多用途への転換、多機能・複合化を推進し、広域連携を進め、広域の観点からも必要な公共施設等の総量を検討し、施設の統廃合や廃止等により、市民の利便性の低下を伴うものについては、十分な合意形成を図りながら実施していくとあります。具体的にどの施設が該当し、早期に対策を講じなくてはならない施設、中期・長期的に対策を講ずる施設をどのように計画されているのか伺います。</p> <p>(3) インフラ施設においても、市の管理する維持費は増加し、必要と想定される更新費用は年平均で20.1億円となります。これらについても、先送りをすれば、十分な公共サービスを提供できなくなるばかりではなく、ますます財政を圧迫することとなります。これらに対する指針も出されておりますが、直近の課題として、どのように講じていくお考えなのか伺います。</p>	市長
		<p>2. 「農商工連携を核とした賑わい交流拠点」整備事業について</p> <p>子育て支援・多世代交流複合施設工事が着工し、今後、農産物等販売施設、地元食材活用レストラン、6次産業化加工施設等の着工準備が始まることを踏まえ、質問をいたします。</p> <p>(1) 賑わい交流拠点の運営には、集客数の確保が、取</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	4番 澁谷政義	<p>か伺います。</p> <p>(4) 市民以外の利用者数は、全体の何割くらいを想定しているのか伺います。</p> <p>(5) 年間の利用料収入見込みを伺います。</p> <p>(6) 年間の施設運営費の試算について伺います。</p> <p>(7) 将来的にも、市の財源に負担をかけないで持続運営をされていかれる決意を伺います。</p> <p>2. 都市計画道路の見直しについて</p> <p>本市の、第5次白石市総合計画実施計画では、県都市計画道路見直しガイドラインに準じ、道路交通やまちづくりの現状、土地利用や交通形態の変化に伴う将来計画を見据え、長期未着手の都市計画道路について計画の継続あるいは変更の方針を明確にし、都市計画道路網の見直し案を策定するとあるが、どのように見直されたのか、特に中河原白石沖線は、どのような結論を出されたのか、お伺いします。</p>	市長
3	18番 佐久間儀郎	<p>1. 除排雪・融雪対策について</p> <p>雪国特有の悩みであります除排雪・融雪の問題について質問いたします。われわれ雪国に住む者にとっては、その年によって多い少ないの差はあっても、時季になると確実に降る雪との戦いが、日常生活にとって大きな悩みであり障害となっております。</p> <p>車社会の現代、冬季の日常生活を円滑に進めるためには、朝の出勤時までには除雪をしなければなりませんし、除雪した雪を排雪もしなければならぬのであります。</p> <p>本市では、幹線、主要道路については、市費により除雪・融雪作業をしていただいておりますが、それ以外の市が管理する市道については、自治会住民によって除排雪・融雪をしているのが実態です。いささか、現在のままでよいのかどうかと考えていますので、以下について伺います。</p> <p>(1) 市が委託している業者の実際の除雪・融雪作業が、朝の出勤時には終わらず、また、児童・生徒が通学に難儀しているとの苦情を耳にします。こうした事態をどのように捉えているのでしょうか。</p> <p>(2) 市内全域の市道は、おおよそ527キロメートルにも達しているということで、全線を市で除雪・融雪作業ができない実情は理解します。脇道、枝線を、自治会や地域住民の応援を求め、ボランティアに依存しているのもやむを得ないかと思えます。地域では、重機や農機・トラクター等によって除排雪・融雪作業を懸命にいただいておりますので、こうした方々の燃料費などを幾分かでも市で負担し、ご奉仕に報いる姿勢があってもよいのではと思いますが、当局のお考えをお聞かせください。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 佐久間 儀 郎	<p>2. 病児・病後児保育について</p> <p>本市は、保護者の方の入院や通院、学校行事への参加、また、育児疲れによる心理的、身体的負担を解消するためなどから、保育を必要とする子供に対する保育サービスとして、南保育園内において一時預かり事業を行っており、これは大変に好評を得ているものと捉えております。</p> <p>保育の一時預かりの取り組みとしては、病気の子供を一時的に預かる事業もありますので、このことについてお伺いします。</p> <p>この取り組みには、病児保育事業と病後児保育事業があります。病児保育は、医師が常駐している施設などで、病気の急性期にある子供を一時的に預かるというものです。一方、病後児保育は、病気の回復期にある子供を一時的に預かるというものです。</p> <p>少子高齢社会の現代において、子育てで親が最も困難を感じるのは、子供が病気のとこだと思います。子供が病気をすると、親は非常に不安に陥ります。こうした親を支える必要があります。</p> <p>全国的には、保育所に通っている子供が、保育所で熱を出したり、体調不良となったとき、親が迎えに来るまでの対応といったことから、病院に併設された病児保育施設などで子供を預かるといったことなど、多様な取り組みが行われております。男女共同参画社会のニーズを満たすには、このような病気の子供を預かる事業、そして施設の充実が強く望まれます。病児・病後児保育は、究極の子育て支援といえるのではないのでしょうか。</p> <p>我が市での病児・病後児保育対応、施設の現状と今後の取り組みについて、いかがお考えであるのかお伺いします。</p>	市 長
		<p>3. 未収金対策の取組みについて</p> <p>過般、平成28年度の一般・特別会計決算審査意見書によって、監査委員から意見の開陳がされましたが、その中に、「市債権の未収金の問題」について平成28年度末の未収金が一般・特別会計で7億3,950万円余であることを憂慮し、未収金発生未然防止と早期回収の適切な措置を講じて、未収金の縮減に努めよとの意見がありました。きちんと税金や使用料などを支払っている多くの市民からすると、多額の滞納が毎年積み重なっている状況は許すことができないのが、素直な気持ちだと思います。</p> <p>なお、広報しろいし11月号に掲載されましたが、宮城県と市町村は、先月から12月までの2カ月間を「宮城一斉滞納整理強化月間」として、県税・市町村税の滞納者に対する徴収対策を集中して実施しています。期間中は、滞納者に対し文書催促や、勤務先・取引先などへの財産調査、自宅などの搜索、預貯金・給与・</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 佐久間 儀 郎	<p>不動産などの差し押さえ、自動車のタイヤロックなどの徴収対策がとられたものと広報は伝えています。</p> <p>賦課された税金は、違法に賦課されたものではなく、納税すべき事由、担税力があるから賦課されたのであります。それを納めないからといって放置しておくことは、単に財政面の必要性だけでなく、住民負担の公平性を確保する見地からも許されないことです。住民に対して滞納処分することは、情において忍びないものがありますが、一罰百戒の意味を込めて、悪質と思われる者に対しては断固滞納処分をすべきです。</p> <p>監査意見書では、当局が「白石市債権管理条例」を制定し、未収金対策に取り組む姿勢を示したことを高く評価しています。そこで、市税・その他の公債権だけでなく、私債権も含めた未収金対策の取り組みについて、以下の諸点をお尋ねします。</p> <p>(1) 現在「宮城一斉滞納整理強化月間」中ではありますが、本市は総務部収納管理室の滞納整理係が中心になって、滞納整理を強化していると思いますが、実際の状況をお知らせください。</p> <p>(2) 「債権管理条例」の運用において、債権管理についての全庁的な方向性の明確化が大切でありましょう。本市の債権は様々な所管課で発生しています。そうした特徴から所管課ごとに管理状況の「ムラ」が出る実態はないのでしょうか。基本原則として、全庁的な方向性を明確化し、一体となって債権管理の適正化に取り組む必要があると考えますが、管理の姿勢としてお考えをお聞かせください。</p> <p>(3) 組織面で、個別所管課で管理している債権の一部を専門組織に一元化して回収に当たる取り組みが必要ではないでしょうか。また、徴収業務を行う体制整備、滞納整理の情報やノウハウの共有化ということが必要と考えます。本市では、総務部収納管理室が専門部署でありますから収納管理室の組織を強化をして、債権回収の一元化、ノウハウの共有化を進めるお考えはないか伺います。</p> <p>(4) 白石市行財政改革推進計画【集中改革プラン】で平成29年度には業務委託、民営化の推進に取り組む計画をしていると公表していますが、徴収事務においての催告業務を嘱託職員を雇用して常時、間断なく手続きを行うとか徴収業務でも民間委託は対象になると考えますが、いかがお考えでしょうか。</p> <p>(5) 2市7町自治体で負担金を拠出して仙南地域広域行政事務組合に「滞納整理課」が設置されており、高い徴収率を示しています。平成28年度の白石市分の実績は、76件滞納額84,318,389円のうち、7件24,631,248円徴収されており、徴収率は29.21%となっているようです。</p> <p>本市における滞納整理の位置づけをどのように見ているのか、また、どの時期に市から広域行政事務</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 佐久間 儀 郎	組合の滞納整理課に滞納者の移管をするのか、徴収困難な悪質の事態をどうした時期に判断して、移管手続きをしているものか、実際の状況をお聞かせください。	市 長
4	3番 伊 藤 勝 美	<p>1. 平成30年度予算編成について</p> <p>平成29年も師走となり、今年度の事業も大詰めの時期に入りました。また、平成30年度の予算編成もおおむねまとまり、そろそろ市長の査定に入る準備の段階に入っていることと思います。</p> <p>現在、本市に限らず、多くの地方自治体においては、急激な高齢化に伴い、社会保障費は増大する傾向にあります。また、人口流出などにより、若者を初め、いわゆる生産人口は減少し、税収入の拡大は望めない状況ではないでしょうか。</p> <p>しかし、厳しい状況下のもと、山田市長におかれましては、市長就任以来、第5次白石市総合計画のもと、総合戦略となる地方創生を軸として積極的なリーダーシップを発揮され、産業の活性化や観光振興などの経済分野や子供・子育て支援などの教育分野の政策に力を注がれ、今後、さまざまな取り組みで成果が上がってくるものと期待しております。</p> <p>そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 平成30年度当初予算編成に先立ち、これまでの白石市の財政運営についてお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の財政運営の見通しについては、どのように考えているのかお聞かせください。</p> <p>(3) 健全な財政運営を維持していく上で必要となる財政調整基金について、現状と平成30年度当初予算編成における活用についてお聞かせください。</p> <p>(4) 平成30年度当初予算編成に向けて、庁内上げて全力で取り組んでいると思いますが、本市の予算とは、市民サービスを重視し、真に必要とされる事業に確実に予算を配分しなくてはならないものと考えております。</p> <p>そこで、平成30年度当初予算編成に当たり、予算編成の方針はどのようなお考えを持って臨まれているのか、お聞かせください。</p> <p>(5) 平成30年度当初予算編成において、特に重点を置いて取り組む分野などがありましたら、その理由や背景なども含めた考え方をお聞かせください。</p> <p>(6) 道路や上下水道、橋梁、公共施設等といったインフラ整備、ハード整備につきましては、現実には予算がどれだけあっても十分ということはないと思います。計画的に整備していくしか道はないと思いますが、インフラ整備がまちづくりの大変重要な要素であり、計画どおりに進むことを市民も強く望んでいるのではないのでしょうか。</p> <p>厳しい予算編成にあっても、インフラ整備の予算</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	3番 伊藤勝美	<p>配分は必要であると認識しております。しかし、国や県からの補助金、交付金もなかなか厳しいとお聞きしております。</p> <p>そこで、来年度予算において、インフラ整備、ハード整備への配分はどのようにお考えでしょうか、お聞かせください。</p> <p>(7) 本市が交付している補助金については、公益性のある事業の活性化を目的として市民団体を対象に交付し、活動の支援、助成、奨励に資するものや施設整備の促進に資するものがあると理解をしております。</p> <p>また、各種補助金の所管課においては、毎年補助事業が適正にかつ公益的に行われているか検証、評価を行い、補助金の交付目的や効果に照らして適正かどうかの点検がなされています。</p> <p>平成30年度予算編成において、補助金の廃止や見直し、減額となる団体等の数はどのくらいあるのか、また、平成29年度の予算と比べて、どのくらいの金額が削減される予定になるのか、お聞かせください。</p> <p>(8) 市長のお手元には、市内の各地区から、山ほど多くの要望が来ていると思います。どれも生活に密着した切実な要望ばかりだと思いますが、中には国・県の事業もあるかと思っています。</p> <p>この要望すべてを予算化し、実施していただければ非常にうれしく、市民の方々も大喜びですが、市の財政事情からすれば、当然不可能であり、地域間の公平性、緊急性、優先度などから判断をされ、予算化をされるものと思います。そこで、市民要望事業には積極的な取り組みを行っていただきたいと思いますが、見解をお聞かせください。</p>	市長
		<p>2. 市長の政治姿勢について</p> <p>昨年12月定例議会において、市長に就任された山田市長は、市政運営に係る所信表明の中で、「市民の笑顔あふれる白石」をつくり上げてまいる所存であると、力強く堂々と述べられていました。市長に就任されて1年になりますが、市民の期待に応えられるよう、日々、全力で市政運営に取り組んでいることに対し、敬意を表したいと思います。</p> <p>そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 市長に就任されて、1年を迎えた現在の心境をお聞かせください。</p> <p>(2) 先般、各地区において「自治会長と市長の地区懇談会」が開催されていますが、意見・要望等がどのような内容であったのかお聞かせください。</p> <p>(3) 本年度において、市長は、市政発展のため、国内・国外に精力的に出張されているように見受けられます。</p> <p>そこでお尋ねします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	3番 伊藤勝美	<p>① 本年度も、企業立地セミナーが開催されたようですが、内容、成果等についてお聞かせください。</p> <p>② 本年度における海外出張の目的、内容、感想及び成果等についてお聞かせください。</p> <p>③ 最近、全国の自治体における海外出張については、費用とかの問題もたびたび話題になっていることから、海外出張からの帰国後に、どういう目的で、どういうことをやって、どういう効果があったということを報告書として、ホームページで公表するというような透明化を図っている自治体が多くなっています。本市も情報開示して、ホームページで公表すべきと思いますが、見解をお聞かせください。</p> <p>(4) 交際費は、地方自治法に規定された歳出予算区分であり、市長などが行政の円滑な運営をするため、市を代表して外部の個人や団体との交際や交渉に要する経費であると理解しています。</p> <p>そこでお尋ねします</p> <p>① 市長交際費はどのような基準で支出されているのか、お聞かせください。</p> <p>② 最近、多くの自治体においては、交際費の執行（支出）の透明性を高め、市民の市政に対する理解と信頼を深めてもらうことを目的として、市長交際費の執行状況をホームページ上に掲載しています。本市においてもホームページに掲載すべきと思いますが、見解をお聞きします。</p>	市長
		<p>3. 道徳の教科化への対応について</p> <p>平成27年、文部科学省は学習指導要領を改訂し、道徳で教える内容に新たにいじめへの対応やグローバル化への対応も盛り込まれました。問題解決や体験的な学習なども取り入れ、考え、議論する道徳教育を目指しているようです。そして、小学校では平成30年度より、中学校では平成31年度より特別の教科として完全実施となりますが、すでに多くの学校で試行が始まっているようです。</p> <p>今まで週1時間あった道徳の時間は教科ではありませんでした。学活などと同じく普通の授業とは別に週1時間行う領域、つまり、1958年制定の特設道徳でありました。そもそも道徳の時間には反対意見が広くあり、その理由は戦前のように国が決めた価値観を押しつけることになり、表面的ないい子を生み出すことにつながるからと言われています。また、教育学の主流としては、道徳性は学校の教育活動全体を通して育まれるものであり、成績をつける必要性のある教科にはふさわしくないとも考えられていました。</p> <p>国語や数学などの教科は、中学校以上ではその教科の免許を持った教員が、国の検定に合格した教科書を導入し指導するとして、5段階などの数値も使って評</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	3番 伊藤勝美	<p>価するとされています。</p> <p>しかし、新たに教科となる道徳では、検定教科書はつくられますが、道徳専門の教員免許は設けず、指導はこれまでと同様に、原則学級担任が行い、評価は記述式であらわすことになるとしております。</p> <p>そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 道徳教育は文字どおり、道徳的な心情を育て、判断力や実践意欲を持たせるなど、道徳性を養う大切な教育であると理解しています。また、全国的に見ても、青少年の社会性の低下が問題になっている現状があります。本市においても、教育現場を取り巻く環境の変化や児童・生徒の抱えるさまざまな問題が増加し、複雑化しているのではないのでしょうか。</p> <p>これからの子供たちの健全育成を願う上でも、道徳教育の役割は大きなものがあり、関心を持たなければならぬと思っておりますが、道徳の教科化に対する見解をお聞かせください。</p> <p>(2) 文部科学省では、学習指導要領の趣旨を生かした道徳の時間の一層の充実を図るため、新学習指導要領に対応した読み物資料集を作成しており、本市の小・中学校でも「わたしたちの道徳」、「みやぎの先人集」などが活用されています。</p> <p>教科化されると、これらにかわって検定教科書を導入することになると思っておりますが、現在の道徳が特別の教科としての道徳に移行することで、指導内容や指導の狙い等がどのように変わっていくのか、お聞かせください。</p> <p>(3) 教科になるわけですから、評価が必要になります。道徳教育における学習の理解度や達成度を数字で示すのはそぐわないとの考えのもと、児童・生徒の評価は記述によりあらわすことになるとお聞きしています。</p> <p>適切でわかりやすい評価を記述により行うことは大変難しい作業ではないかと思っております。また、最近、教師の仕事量がふえ、過剰労働が問題視されているさなか、記述による評価は単純に教師の仕事量がふえることにもつながると思っております。</p> <p>指導や評価の方法について、文部科学省等から示され、先生方も研修等で学んでいくこととなりますが、記述による評価は今後、どのようなものになるのか、実施に向けた取り組みをお聞かせください。</p>	教育長
5	7番 管野恭子	<p>1. 骨髄移植などで抗体を失った小児ワクチン再接種の費用助成について</p> <p>小児がんなどの病気で骨髄移植などを受けた子供は、その影響で接種済みワクチンの抗体が失われ、再接種が必要になることがある。</p> <p>この場合、予防接種法には何ら救済措置が講じられておらず、全額自己負担になる。国が努力義務を課し</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	7番 管野恭子	<p>ている定期接種は11種類あり、全額負担で約20万円とされる。厚生労働省は再接種への助成については「各自治体次第」とのことである。こうした現状から、再接種に全額助成する自治体がでてきている。本市においても是非検討すべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長
		<p>2. 介護保険居宅介護（介護予防）住宅改修費の支給について</p> <p>本市は、この件について「償還払い方式」としているが、利用者の負担軽減から、「受領委任払い方式」もあわせて導入している自治体は多い。本市においても、「受領委任払い方式」を導入すべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長
		<p>3. フォトロゲイニングの実施について</p> <p>フォトロゲは、2～5人でチームをつくり、地図に示されたチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツであり、制限時間内にどれだけ回れるかを競い、デジタルカメラなどを携帯し、各ポイントでは通過証明として写真を撮影するのがルールである。近年、人気が高く、大会が毎週のように全国どこかで行われている。先日は、東京・八王子市で開催された。参加者は「八王子に住んでいるが、知らない場所がたくさんあった。このまちがもっと好きになった」と語っていた。また、市の担当者は「八王子のまちをもう一度知ってもらおう。知らなかったことを再発見してもらおう。これがフォトロゲの魅力」と述べている。</p> <p>スポーツと観光が融合した取り組みと考えるが、本市でも実施を検討してはどうか。見解を伺う。</p>	市長
6	15番 佐藤秀行	<p>1. 「ドローンスクールの利活用」について</p> <p>小型無人機「ドローン」の研修センター「i-Station」（屋内練習場とセミナールームを備えた）が福岡八宮地区に開設されて2カ月が過ぎました。操縦方法や活用策を広め、一般から技術者まで幅広い層の人材育成を進める、災害時や建設土木分野など多様な分野でドローンを生かせる人材をふやしたいとしています。</p> <p>また、研修は、一般や工業高校、公共団体向けの体験会や操縦者資格の取得、3次元計測技術体験など9コースが用意されています。東日本ICT推進協議会は、次世代のICT技術者養成や技術提供する事業を展開するとしています。</p> <p>市としても、次世代技術者育成事業運営費補助金として500万円を予算に計上しています。</p> <p>そこで次の点について、お伺いします。</p> <p>(1) 10月下旬に市職員13名が受講し、ドローンの機能や構造、飛行に関する法規制を学んだ後、4つの羽で飛ぶ「クワッドコプター」の操縦を体験、上空からの映像を確認したと、新聞にその時の状況が掲載</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	15番 佐藤 秀行	<p>されました。</p> <p>市職員はどの部署の職員が、何の目的のために受講されたのか。また、参加、体験されてみての感想等ありましたら、あわせてお伺いします。</p> <p>(2) 市として今後の利活用、事業への活用、方向性についてどのようにお考えなのか伺います。</p>	市長
		<p>2. 「市独自の教育～35人学級～」について</p> <p>国は「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、小学校1学年の35人学級を実施、また、県は「学級編制弾力化事業」により、県内すべての小学校2学年と中学校1学年において、よりきめ細かな教育活動を進め、その後の学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図るため、1学級35人を実施してきました。</p> <p>そんな中、平成27年度、白石市は市内小中学校すべての学年で35人学級を実施することにし、本市の特色ある教育、市独自の教育の一つとして、本年度で3年目になります。</p> <p>このことについて次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) すべての学年を35人学級にしようと考えた、その経緯等についてお伺いします。また、各小中学校の先生方はそのことをどのように受け止めたのか、あわせてお伺いします。</p> <p>(2) 少人数学級により、教師の負担が減る、子供と向き合う時間が確保されることなどに大きな意味があると思います。この3年間で振り返っての成果について、学習・生活指導面における少人数学級の効果は何か、もし課題があればあわせてお伺いします。</p> <p>(3) 関連して伺います。市で採用している幼稚園、小中学校の24名の学習支援員について、児童・生徒の現状、実態を踏まえての採用であると考えますが、今後の更なる必要性、採用等についてはどのようにお考えか、お伺いします。</p> <p>(4) 文科省調査「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」によると、多くの保護者も少人数学級を望んでいます。保護者の約半数の48%の保護者が、小中学校の望ましい学級規模として、「26～30人」を挙げています。このことについての所見を伺います。</p> <p>(5) 2学期制、ALTの増員、P4Cの取り組み、小中連携英語教育推進事業、先日は、来年度から小学校で教科化される道徳の公開研究会が大鷹沢小で開催されるなど、本市は、これからの新学習指導要領に沿った先進的な取り組みを、常に積極的に行い、また進めており、素晴らしいものがあると思います。</p> <p>そこで最後に、改めてお伺いします。本市の特色ある教育、市独自の教育の一つとして、すべての教育活動において大切な、そして基本になる35人学級</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	15番 佐藤 秀行	をこれからも継続していくべきと考えますが、所見を伺います。	教育長
7	1番 佐藤 龍彦	<p>1. 障害者手帳の交付方法の改善について 障害者手帳を最近取得したという高齢の女性から寄せられた声です。 その女性は、視野が狭いなどの症状があり、以前から病院に通院をしていたそうです。特に近年は、高齢のためか少しずつ症状が進んできたことや足腰も弱くなり体が思うように動かなくなるなど日常の生活にも支障を来すようになり、ヘルパーにも来てもらっているとのことでした。 そのような状況の中、最近になって医師から障害者手帳の取得を勧められ、身体障害者手帳の申請手続きをしたそうです。申請後、しばらくして身体障害者手帳が交付されるとの連絡がきました。しかし、職員からは福祉センターにて手帳を交付するので窓口まで来て下さいと言われたそうです。 その女性は、年金のみで生活をしていることから、経済的にも往復で数千円にもなるタクシー代の負担はとて大きかったと言っていました。また、身体障害者手帳を申請するくらいの状態なのに、福祉センターまで行かなければならなかったことに対し、大変苦痛だったとも訴えていました。 そこで本市の障害者手帳（身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳）の交付方法について伺います。</p>	市長
		<p>2. 就学援助の新入学学用品費の入学前支給について 第425回定例会でも質問いたしました。小・中学校に通っている児童・生徒の保護者で、経済的に困窮する家庭に対し支給されている就学援助のうち特に新入学学用品費の入学前支給についてお伺いいたします。 前回の質問以降、県内の多くの自治体で来春からの新入学学用品費の入学前支給を決めていることが新聞等で報じられています。 このことを受けて、本市の就学援助の入学前支給に対するお考えをお伺いいたします。教育長も先の議会で、実施状況の情報を集めながらできるかどうかを検討していきたいとの答弁をされています。 そこで伺います。 (1) 就学援助の新入学学用品費の入学前支給について県内の状況について伺う。 (2) 本市も新入学学用品費の入学前支給を実施する考えはないのか伺う。</p>	教育長
		<p>3. ひきこもりの支援について 全国的にも大きな問題となってきたひきこもりの方への支援について、本市の現状とお考えをお伺い</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	1番 佐藤龍彦	<p>いたします。</p> <p>ひきこもりとは、小・中学校時代の不登校などさまざまな経緯を経て、社会との関わりをほとんど持たなくなってしまうことを言いますが、内閣府の調査によると、昨年9月、全国の15～39歳を無作為に抽出した調査で、約54万人に上るとの推計結果を公表しました。</p> <p>近年は、ひきこもりの高年齢化が進んでいて、さらに深刻な問題となっていることが報道されています。</p> <p>本市においても家族にひきこもりの方がいることで悩んでいるという方にもお会いしました。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) ひきこもりに対する国の支援制度について伺う。</p> <p>(2) 本市のひきこもりの現状について調査等を行っているのか伺う。</p> <p>(3) 本市はひきこもりの方やそのご家族に対し、どのような支援等取り組みを行っているのか伺う。</p> <p>(4) 今後、本市としてひきこもりの方やそのご家族に対して、どのように向き合っていく考えがあるのか伺う。</p>	市長
8	2番 保科善一郎	<p>1. 本市の地方創生について</p> <p>平成27年10月、白石市まち・ひと・しごと総合戦略が策定されました。第5次白石市総合計画ほか、関連する既存計画と整合性を図り、地方創生を効率的・効果的に推進していくため、市民代表をはじめ、学識経験者・産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア等で構成する「白石市まち・ひと・しごと創生戦略会議」を設置するとともに、市民意識調査やワークショップ、パブリックコメント等の実施により、広く関係者の意見を取り入れ、市民と行政の協働による総合戦略が策定されています。「白石市総合戦略」では、戦略に盛り込む政策分野ごとに基本目標を設定し、具体的な施策を記載するものとし、あわせて、客観的な「重要業績評価指標」(KPI)を設定されております。</p> <p>また「重要業績評価指標」の達成度により検証し改善する仕組みを構築して、計画・実行・評価・改善というPDCAサイクルを確立し、効果的な戦略を策定し着実に実施するとともに、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を見直すことになっております。</p> <p>(1) 基本目標として掲げた下記項目について実施した施策・事業の効果を検証した内容を伺います。また、必要に応じて総合戦略を見直すことになっておりますので、この点もお示し願います。</p> <p>① 産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり(安定した雇用創出)</p> <p>② 市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり(新しいひとの流れをつくる)</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	2番 保科善一郎	③ 安心して子供を産み育て、心やすらかに暮らせるまちづくり（若い世代対応）	市長
		2. 子育て支援・多世代交流複合施設整備事業について 若い世代を中心とした定住支援・子育て支援の強化を図ることは有意義なことであり、このような事業が成功することを望んでいます。 (1) 事業計画立案段階の経過について教示願います。 (2) 現在の進捗状況について伺います。 (3) 施設の運営体制について伺います。 (4) 今後の全体の構想について伺います。	市長
9	13番 菊地忠久	1. 平成30年度予算編成について 本年6月、第425回定例会の一般質問において、本市の財政状況について質問いたしました。 市長は「財政状況は非常に厳しい。仮に今年度と同規模の予算を組もうとすれば、来年度予算編成ができないという認識もある」「他会計への補助金、繰入金、そういったものを総合的に見直す作業を担当の部署のほうに指示をしている」「白石市創生に向けて、本市の将来的なビジョンを描きながら予算の編成をしていきたい」等の答弁をなされました。 (1) 現在、平成30年度の予算編成を行っていると思いますが、どのような方針で臨んでいるのか伺います。 (2) 今年度と比較して予算規模はどのようなものになるのか伺います。 (3) 「本市の将来的なビジョンを描きながら予算の編成」とは具体的にどのようなビジョンを描いているのか伺います。	市長
		2. 子育て支援・多世代交流複合施設について 現在整備を進めている子育て支援・多世代交流複合施設ですが、今年度は屋内遊び場、来年度は産直施設や6次産業化加工施設の整備を行うとのこと。 (1) 屋内遊び場について ① 市長は、昨年の市長選挙の公約で「ふれあいプラザ内にある子育て関連の機能を移転し、子育て支援の拠点となる施設とします」と述べておられますが、現在の所見を伺います。 ② 遊具選定についても6月議会で「子育て世代の方々やこの施設を利用していただく市民の皆さんの意見や要望を、しっかりと反映をしながら検討していきたいと考えております」と答弁をされました。どのように市民の声を聴き、遊具選定に反映しようとしているのか伺います。 ③ 施設や遊具の維持管理費や購入費を抑えるためにネーミングライツ、遊具の寄付募集などを実施すべきと考えますが、所見を伺います。	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	13番 菊地忠久	<p>(2) 産直施設について</p> <p>① 同じく選挙公約にあった道の駅構想では「オール白石の総合物産館となり得る施設とする」と述べられていました。今回の産直施設の概要について、どのようなものになるのか伺います。</p> <p>② 岩手県紫波町に地域活性化の成功例として有名な「オガールプラザ」があります。図書館などの公共施設や産直市場、商店などの民間施設で構成されています。建物の建設にあたっては、先に建物を作ってそのあとにテナントを募集するのではなく、先にテナントを募集し、ある程度のランニングコストを算出してからそれに見合う、建物の仕様を決めるという手法を取りました。そのため、民間の利益を図書館の維持管理費に充てることができています。本市の産直施設建設にあたり、大いに参考にできる事例と考えますが、所見を伺います。</p> <p>3. ホームタウンパートナー協定について</p> <p>ホームタウンパートナー協定とは、全国で活躍する実業団スポーツチームやプロスポーツチームをホームタウンパートナーとすることで、チームの試合や合宿、小中学生向けのスポーツ教室、イベントなどへの参加等を通じて、スポーツの楽しさや喜びを伝えることを目的とした制度です。また、それによってスポーツを通じた魅力あるまちづくりや交流人口の拡大に結びつくことが期待できます。</p> <p>本市でもこの協定を結び、更なるスポーツ振興、地域振興につなげるべきと考えますが、所見を伺います。</p>	市長
10	9番 大野栄光	<p>1. イベント時のバスの運行について</p> <p>本市において年間を通し、多彩なイベントが行われている。全日本こけしコンクール、白石夏まつり、鬼小十郎まつり、農業祭等は市内外を問わず、多くの人たちが訪れる。</p> <p>そんな催しを尻目に高齢者の方たちは会場を訪れることができない。土・日はバスの運行がなく、交通空白日となる。近年は高齢者の免許返納の呼びかけもあり、行動範囲も狭くなり、頼るところは公共交通機関だけとなる。せめてイベントの時くらいは、土・日のバス運行ができないものか伺います。</p> <p>2. 温泉地のにぎわいについて</p> <p>本市の観光施設として誇れる一つに温泉がある。白石市の奥座敷と言われる小原温泉、春の新緑、秋の紅葉、雪降る節には、山水画を思わせる溪谷美である。そんな魅力に長年多くの湯治客やリピーターが押し寄せた。団体客や旅行客を首都圏から受け入れ盛況を呈していた。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	9番 大野栄光	<p>しかし、長年続いた老舗旅館が大震災後、原発事故の風評被害により客足が激減し、事業停止に追い込まれた。活況を取り戻すためにも、2点ほど伺います。</p> <p>(1) 一企業としての努力にも限界があると思う。行政としてできる支援策はなかったのか伺います。</p> <p>(2) 今後、温泉街のにぎわい策をどのように考えておられるのか、ご所見を伺います。</p>	市長
		<p>3. トイレの管理について</p> <p>「日本のトイレは世界一だ」とよく聞く。トイレトペーパーがあり、綺麗で清潔だと評価が高い。「いつも綺麗に使っていただきありがとうございます」と添え書きがある、その店の優しさが感じられる。本市においても公共のトイレは美しく管理されている。清掃されている人たちに感謝したい。</p> <p>しかし、先般市内の観光地トイレで疑いたくなるような光景にあった。早々に用を足し出てきた。観光地の一角でもあるトイレ管理はどのようになされているのかお尋ねします。</p>	市長
		<p>4. 児童・生徒の防災意識について</p> <p>正月明け早々に行われる消防団出初め式に、幼稚園の子供たちも参加してくれます。拍子木を先頭に「火の用心」と入場してくる様子は何とも愛らしくかわいらしさそのものです。</p> <p>地域の安全・安心のために日夜活動している消防団員の方たちには、敬意と感謝の思いです。先月も越河地区で発生した火災は夜中の午前3時、その後午前7時に鎮火とのことで大変な消火作業と思います。</p> <p>近年は女性消防団員も結成され、大変心強い限りです。秋の分団演習に中学生の生徒の見学参加を試みました。引率していただいた校長先生は訓練を見て、「全校生徒に見てもらいたい」との声も聞かれました。地域の豊かさを守るべく消防団員の方たちは活動を休みません。高齢化、少子化、限界集落と団員不足、難しい問題も浮上しています。</p> <p>明日に消防団活動を継ぐためにも、児童・生徒の防災意識高揚の大切さについてのご所見を伺いたい。</p>	教育長
		<p>5. 鳥インフルエンザについて</p> <p>寒くなるこの時季、渡り鳥がやってくる。かつては沼や川岸が整備され、餌付けまで行われていた。近年、大陸病と言われる鳥インフルエンザが心配される。一度発生が確認されれば、広範囲にわたり鶏が殺処分となる。養鶏業者の方たちの経済損失は致命的なものとなる。</p> <p>防鳥や防疫の対応、市民に対しての注意喚起などはどのように行われているか伺います。</p>	市長